

曹洞宗テレホン法話
令和五年十月二十四日～三十日 副住職担当回
冬を前に

季節は秋。これからの時期、紅葉が見ごろを迎えます。また、実りの季節でもあり、旬の野菜や果物を味わう方も多いことでしょう。一方、秋が終われば季節は冬へと移り変わるため、なんとなく気持ちが暗くなる方はいらっしやいませんか？「一番好きな季節」について聞いたアンケートの結果によると、好きな季節は春・秋・夏・冬の順とのこと。雪国にいる私も、「また雪かきの季節が始まるな」と憂鬱になります。

一方、植物の世界から季節を見るとどうでしょう？例えば、樹木は春になると花を咲かせ、夏になると実を結び、秋になるとその実が地面に落ちたり、鳥が運んだりして種がまかれます。冬の間、木はその芽にしっかりと養分を蓄え、春の芽吹きに備えています。植物にとっては、冬もまたかけがえのない季節なのです。

また、人生を春夏秋冬でたとえると、春は青年期、夏は三十～四十代、秋は五十～六十代、冬は七十～八十代といわれています。冬の世代も重要な役割があり、次の世代への継承期とされています。人生を振り返り、自分が得た経験や知識を次の世代への受け渡していくべき世代なのです。

冬はじっくりと物事を考えるのに適した季節でもあります。作家の立花隆さんは、「セカンドステージをデザインするには、ファーストステージを見つめなおすことが必要」という言葉を遺しています。冬の間こそ、来る新しいステージに向け、どのように生きるか熟考しては如何でしょうか？

大本山永平寺をお開きになった道元禪師が、「春は花 夏ほと

とぎす 秋は月 冬雪さえて冷しかりけり」とお詠みになったように、すべての季節を物事を為すのに良い時期ととらえ、冬もまた実りある季節として過ごしたいものです。

『令和六年 曹洞宗宝暦』 配布について



しております。ご希望の方はお声がけください。

令和六年一年間の暦に、こころ休まるイラストと書を掲載し、その他、坐禅のすすめ、おてらの行事、毎日のおつとめなどを掲載しています。お手元にあると便利な一冊です。当寺事務室にて無料でお配り

『曹洞宗檀信徒手帳2024年版』 頒布について



曹洞宗事務庁の手帳です。

二〇二四年一月～二〇二五年三月までのスケジュールと、『般若心経』『修証義』『妙法蓮華経観世音菩薩普門品偈』『妙法蓮華経如来寿量品偈』など身近にあると便利なお経や偈文を掲載しております。

当寺事務室にて希望者に頒布しております。ご希望の方はお声がけください。

※頒布価格：一冊一五〇円

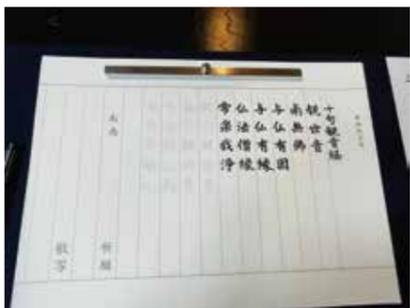
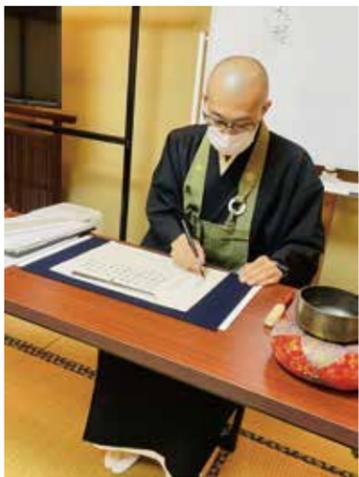
行事アルバム

「キャンドルライト寺ヨガ2023秋」



「むつまぢゼミ 心やすらぐ写経体験 ～手ぶらで！気軽に！自分時間～」

30 心やすらぐ写経体験
手ぶらで！気軽に！自分時間
11/17 ①10:00-11:30
11/17 ②13:00-14:30
●材料費なし ●持ち物なし ●定 員/先着順
講師/大安寺副住職 長岡徳成
曹洞宗 円祥山 大安寺
お寺の文化活動部
☎080-2042-8337 ●受付/9:00-19:00 ●申込/無料



※むつまぢゼミ facebook ページより転載